



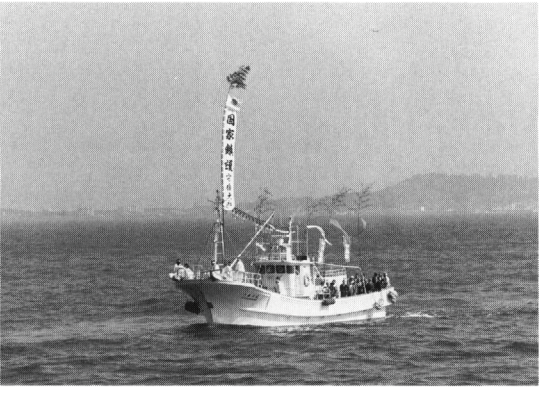
毎月十五日発行 所 社 会 像 大 宗 像 定価 一年送料共 1000円

# 田島放生会 秋季大祭近まる

深い緑に包まれた野山が 次第に色付き、虫の音に夏の 終りを感じはじめると、 列島各地は秋祭りの季節を 迎える。

神郡宗像の総氏神様として、 また全国宗像神社千余社の総本宮として崇拝される 宗像大祭、最大の祭典秋 季大祭がいよいよ間近にせ まって来た。

当大社秋季大祭は、鎌倉 時代初期時の大宮司宗像 氏経が始めたといわれ、七 五十年余の伝統を持つ、宗 像地区最大の祭典である。 共に、古より、田島放生会 と称され、宗像地区の氏子



さん達は因り周辺地域の 人々にとっても待望の祭り で、秋到来を肌で感じる催 しでもある。

大祭は十月一日、宗像郡 内の漁船約五百隻が参加し、 往時の宗像本水の偉容を勢 勢とさせる、勇壮な海上総 巻「みあれ祭」で幕を開け、 皇宮国家の安泰、国民の平 穏、五穀豊穡、海上安全大 漁満足を祈念して、三日間 に亘り盛大に斎行される。

期間中には、その年の収穫 を占う、流鏝馬、鐘崎の沈 鐘伝説にまつわる翁面を着 し奉納される翁舞、地元女 子中学生が可憐な舞を披

## 海洋神事打合せ会 開催

### 秋季大祭に向けて準備始まる

八月二十六日残暑の中、 海洋神事奉賛会打合せ会が 行なわれ、又九月十一日 には四者会談が開催され、 この両会議は当大社秋季 大祭の海上・陸上両神事の 基礎を成す重要な会議であ る。海洋神事は、宗像六漁 協(大島・鐘崎・地島・ 神湊・津屋崎・福岡)の組 合長以下関係団体と波津・ 芦屋・新宮の三漁協を加え



宗像大祭に向けて準備始まる

た打合せ会である。 平成八年度の沖津宮神輿 迎えを九月十四日(計画)に 御座船は本島(丸)船長、 沖西敏明氏)が奉仕される のを始め「みあれ祭」の御 座船、船固編成などを中心 に協議された。 又九月十一日の四者会談 では宗像警察署・宗像土木 事務所・宗像保健所・宗像 地区消防本部・西鉄赤間宮

業所・宗像交通安全協会・ アクシス玄海・玄海町消防 団・さらに地元深田区、 田島区の両区長を始め諸機 関の協力をお願いして、秋 季大祭三日間の総合整備 整理、補導、臨時交差規制 保健衛生等を中心に話し合 いが行なわれた。

八月に宗像警察署に赴任 された渡邊署長の力強い全 面協力の言葉を始め各官庁 団体の指導協力をいただき 今年の大祭中の無事故を目 標に受け入れ体制を組む事 になった。

祭は神賑いであり、神人 和楽の感謝は人々の喜びであ る。参拝者が境内にふあ れる人波である。秋の豊作 を神に感謝し、新しき年を 迎える準備に入るこの季節 当大社の秋祭り「宗像放生 会」は神郡あけての祭日だ け、それぞれのその時代世 相を反映している名言なの かも知れないのに、とんで もない悪意の材料にされる おそれがある。

味覚美食を誇りとする人 間世界での食物のタリは おそろしい一言である。

祭は神賑いであり、神人 和楽の感謝は人々の喜びであ る。参拝者が境内にふあ れる人波である。秋の豊作 を神に感謝し、新しき年を 迎える準備に入るこの季節 当大社の秋祭り「宗像放生 会」は神郡あけての祭日だ け、それぞれのその時代世 相を反映している名言なの かも知れないのに、とんで もない悪意の材料にされる おそれがある。

味覚美食を誇りとする人 間世界での食物のタリは おそろしい一言である。

味覚美食を誇りとする人 間世界での食物のタリは おそろしい一言である。

味覚美食を誇りとする人 間世界での食物のタリは おそろしい一言である。

味覚美食を誇りとする人 間世界での食物のタリは おそろしい一言である。

## 秋季大祭日程

- 九月三十日(月) 午後五時 総社地主祭 午後六時 宵宮祭 十月一日(火) 午前八時三十分 中津宮出御祭 午前九時 津屋宮出御祭 午前九時三十分 大島港出港(みあれ祭) 午前十時三十分 神湊港到着 午前十一時三十分 頓宮御免(陸上神幸) 午前十一時四十分 辺津宮入御(大祭) (主基地方風俗舞) 十月二日(水) 午前八時 流鏝馬神事 午前十一時 例大祭(氏子奉幣・翁舞) 午後二時 末社祭 十月三日(木) 午前十一時 高宮祭 午前十一時四十分 第一第三宮祭 宗像護国神社秋季大祭 献茶祭 (南坊流・瀬口宗芳社中) 午後二時

## 井筒

は着々と進められている。 更に、沖津宮神輿は九月 十四日、御座船「沖一丸」 により筑前大島鎮座の中津 宮へ奉遷される。みあれ祭を 待つばかりである。 尚三日間の祭典・神賑行 事は別表の通りです。皆様 お誘い合せの上、是非御参 拝下さい。

## 余瀆

フランス国王ルイ十六世 の王妃マリー・アントワネットは福岡市立美術館で開 催された。

## 第四三回 宗像大社歌会詠草

- 土穴 瀧口 敦子 呆けかけし幸寿の母は繰返 し聞きては己の年に驚く (評) 九十歳になった長寿 の母に対するよるこびり、 戸惑っている心理が感情語 をまじえないうて詠われ今日 の問題点を提示している。 名古屋 小田 留子 東の間の浅き眠りよ鍼治療 やさしき刺激にわれはつつ まれ (評) 的確にツボに当れば 鍼も快いか、ほぐれるよ うな気分にいる作者の姿が 浮かぶ一首である。 朝野 藤井 浩子 紫の葡萄一粒つづ口に抑へ がたかな心を鎮む (評) 葡萄の色がまづ具体 的に浮び上りその色が心理 的象徴をなしている。四五 句はやや常套的であるが情 趣のある作品と言える。 池田 小田 イセ 柑橘を積みたるままの選果 場みかん不況に閑散とせり (評) 振幅の大きい農歌。 そのほだまで苦勞と思ふ 蜜柑農家の姿を選果場に視 点をあてている。作者も農 業の体験があるのだろう。 やさしい心が偲ばれる。 日の里 大和美由紀 降る雨に公園の芝生を返へ り踏む靴底に弾力感す (評) 雨に生き返った芝 のよるこびりはまた作者のよ るこびりもある。明快では ばえまい一首。 吉留 高山 信子 病気癒え帰えりきたしあば ら屋にわれ茫々とひとり酒 汲む (評) 男まさりの作者だろ うか、しかし「われ茫々と ひとり酒汲む」にこもる悲 しみに注目した。 福岡東 岩男 亘 さはりたき衝動押へつ店 先のうぶ毛がよふ桃を見 てをり 原町 八波 五月 里山に実生の椿咲きつづか 病む窓に見る母木の椿 津屋崎 佐々木和彦 出発をするとき山車の引手 たち掛け声かけて呼吸を合 はす 田野 森 づるの オリオン座山に出づるの時 計とし福こぎ終へし母を思 ふも 福岡 中村 勇 少し位役に立ちたる兄なる か初盆に村人多く集まる 武丸 中村さつき 用もちて出で来し日中遊戯 しに凌宵花は炎の如し 自由ヶ丘 調 貞子 陽が陰り落ちる雨の小さ きにも池の蛙の鳴く声しげ し 八幡西 松永ヤスヨ 轟々と滝のしぶくも勇まし も畑観音の雨止みし午後 八幡西 有吉 陽子 倅せを願って語る観音す がる心に一すじの光 鐘崎 安永 久子 それぞれに異なる面輪すらす らと外孫は広告の裏紙うむ る 八幡西 稲田八重子 炎天に汗にまみれし球児ら を応援す声落付かする 福岡 一宮 末子 我が校の名譽をかけて甲子 園白球追や若人の汗

平成七年四月、文部大臣から「二十一世紀を展望したわが国の教育の在り方について」諮問を受けた中央教育審議会は、審議のまとめとして、これからの学校教育の目指す方向として「生きる力」を育成するといふ基本的観点を重視し、学校に変わっていく必要があると回答してある。

### 生きる力を養う

現代の教育現場が「いちめ」や「自殺」に象徴される異常な状況にあることはすでに周知のことであるが、戦後教育を受けた働き盛りといはれる中高年世代の中にも生来の不安や自己喪失感を訴へる人が増えてきているといふ。

こと思はれるが、最近では医学の分野でも神話体験による心理療法が注目されてきている。戦後の日本が社会意識や教育の中で意図的に排除し軽視してきた神話世界が、今あらためて見直されようとしている。

林の消失といはれ、森林の大規模開墾は表土の流失や地表の砂漠化の原因となった。今日では毎年わが国の国土面積の半分にあたる熱帯林が消失してゆく一方で、その熱帯に潜んでいたエイズやエボラウイルスが、人間のつくった文明社会に逆襲するかのやうに人間の命を奪ってゆく。

人類は好むと好まざるに拘らず環境汚染や地球資源の過剰といふ共通の問題を通して国境を越えた危機に直面してあるやうに思はれる。地球といふ惑星の中に、エネルギーの供給者は太陽であり、これを生物が利用でき

る形に変へてゐるのは植物であり森である。生態系の中で生産者は植物であつて、人間も含めて動物はこの生産者が生み出したくれた有機物と酸素を利用して生きてゐる消費者にすぎない。

最近の環境学専攻は、かつて多神教であつたこの地中海沿岸の山地はレバノンの杉やナラの鬱蒼と生茂つた森であつたと報告してゐる。森を征服し巨大な都市文明をつつた古代のメソポタミアやギリシアの人々は農耕と牧畜により次第に森を減らし遂には自らの文明を滅ぼしてしまつた。シリ

八月十三日の午后ようやうに、ジーゼルカーがトルファン駅に到着した。駅前にはマイクローバスが待っていてくれたので、バスに乗り込み今夜の宿がある中心街の方へ進む。駅から中心街までは五〇キロも離れていない。丁度神社から福岡の中心街天神までの距離がある。川岸の横を道路が走っているが、この辺りの河川は河原にも川の中にも岩がゴロゴロしている。川の真中に水が流れているが、何処までが川であり、何処までが用水路か不明である。道路原野の中に轍の跡があるので道であることが頷けるだけである。

古墳はアスターナ(阿斯塔那)墳墓群と呼ばれる。墳丘の外形が丸型や三角形であり、一般的に丸型が男性用で、三角形が女性用の墳墓と地元では言われている。この墳墓も完全に地下式で分類される。第一期が三六世紀の初めで西晋から一六国時代まで続いている。

## 宗像護国神社

### 戦没者慰霊祭斎行

去る八月十五日の終戦記念日に宗像護国神社に於て戦没者慰霊祭が斎行された。

定刻午後七時、夕闇迫る境内には灯明、提灯合わせで四柱の光が入られ、斎主の山田柁直以下奉仕神

職、名が宗像護国神社に参進、戦没者慰霊祭が斎行された。

修祓の後、斎主が護国の為に尊い生命を捧げられた一五七三柱の英霊に対し、感謝と追悼の意を表すと共

に、更なる世界の平和と繁栄、御遺族の平穏無事を祈念する祝詞を奏上、続いて玉串拝礼が行われ、宗像市遺族連合会出光太蔵会長、宗像郡遺族連合会広嶋純孝会長以下遺族会役員、宗像町和田延広町長、外、田町議会議員外、児童等

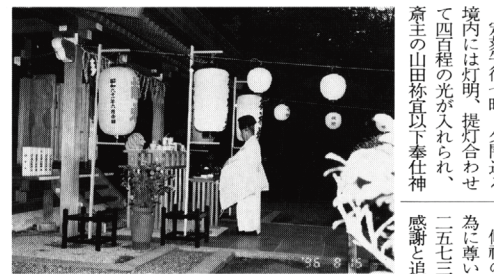
が護国の英霊に対して敬虔なる祈りを捧げた。祭典終了後には境内に於て地元育成会児童等による花火大会と、田原町の住民による盆踊り大会催され、境内は夜遅く迄賑いを見せた。

昨年は終戦五十周年ということで全国各地で様々な催しが行われ、終戦の節目と言われたが、五十一周年を迎えた今年、終戦問題に直接つながるかは別として沖繩の米軍基地問題、核軍縮問題、米国のイラク攻撃等、戦争関連の記事が新聞紙面を飾らない事は無い。

徴兵制度も無く、戦争を知らない世代が増えた昨今、日本人は平和を水はタダ

と思っている風潮が強いが、地球上では多くの国の国境側で緊張が続いているのが現状である。

戦死された方々は、祖国の明い未来を展望して尊い命を捧げられたのである。その犠牲があつてこそ現在



去る八月十五日の終戦記念日に宗像護国神社に於て戦没者慰霊祭が斎行された。

宗像市遺族連合会出光太蔵会長、宗像郡遺族連合会広嶋純孝会長以下遺族会役員、宗像町和田延広町長、外、田町議会議員外、児童等

が護国の英霊に対して敬虔なる祈りを捧げた。祭典終了後には境内に於て地元育成会児童等による花火大会と、田原町の住民による盆踊り大会催され、境内は夜遅く迄賑いを見せた。

昨年は終戦五十周年ということで全国各地で様々な催しが行われ、終戦の節目と言われたが、五十一周年を迎えた今年、終戦問題に直接つながるかは別として沖繩の米軍基地問題、核軍縮問題、米国のイラク攻撃等、戦争関連の記事が新聞紙面を飾らない事は無い。

徴兵制度も無く、戦争を知らない世代が増えた昨今、日本人は平和を水はタダ

と思っている風潮が強いが、地球上では多くの国の国境側で緊張が続いているのが現状である。

戦死された方々は、祖国の明い未来を展望して尊い命を捧げられたのである。その犠牲があつてこそ現在

と思っている風潮が強いが、地球上では多くの国の国境側で緊張が続いているのが現状である。

戦死された方々は、祖国の明い未来を展望して尊い命を捧げられたのである。その犠牲があつてこそ現在

## 宗像市史料編全四巻揃う

### 「地方史をひもとく足がかりに」

かねてより編纂中の「宗像市史料編」第四巻が完成、これで史料編全四巻が揃う運びとなった。

これら四巻は古代から現代に至る宗像地方に

ある歴史資料をほぼ編年式に収録しており、宗像の歴史と文化を研究する上で不可欠の史料である。

このほど刊行された第二巻は中世後半、宗像大宮司家を中心の約百年、宗像大宮司家断絶までの史料が中心に収められ、大友氏や宗像勢の戦国武将たちの度々、興味深いものがある。

このあと通史編全四巻も今年秋ごろから順次刊行される予定である。

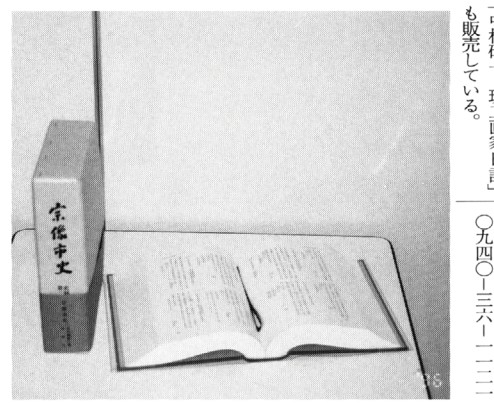
かかねてより編纂中の「宗像市史料編」第四巻が完成、これで史料編全四巻が揃う運びとなった。

これら四巻は古代から現代に至る宗像地方に

ある歴史資料をほぼ編年式に収録しており、宗像の歴史と文化を研究する上で不可欠の史料である。

このほど刊行された第二巻は中世後半、宗像大宮司家を中心の約百年、宗像大宮司家断絶までの史料が中心に収められ、大友氏や宗像勢の戦国武将たちの度々、興味深いものがある。

このあと通史編全四巻も今年秋ごろから順次刊行される予定である。



かかねてより編纂中の「宗像市史料編」第四巻が完成、これで史料編全四巻が揃う運びとなった。

このほど刊行された第二巻は中世後半、宗像大宮司家を中心の約百年、宗像大宮司家断絶までの史料が中心に収められ、大友氏や宗像勢の戦国武将たちの度々、興味深いものがある。

### 一誌一話 (54)

## 中国調査紀行(17)

樂 杏 子

古墳はアスターナ(阿斯塔那)墳墓群と呼ばれる。墳丘の外形が丸型や三角形であり、一般的に丸型が男性用で、三角形が女性用の墳墓と地元では言われている。この墳墓も完全に地下式で分類される。第一期が三六世紀の初めで西晋から一六国時代まで続いている。

水が走り廻り大洪水となる。河岸が壊れられ道路もなくなり、大地そのものが大きく変化するという。自然の猛威の為道路を造るのも意味がない訳である。トルファンでは現代調で「万里の長城」を築り、町を囲む壁として洪水から守る土木工事が続けられていた。高昌故城とベセクリク千仏洞へ行く為に東へ東へ、進む。赤い山肌をたし山、火焔山の裾野の火焔山郷(村)を走りつづける。途中で右に曲ると中心街へ行くがなお真すくに進む。急に原野の中に外形が丸型や三角形をした土饅頭らしき小振りの土山が見え、これらは古墳群であった。

斜坡が長く階段状に続く。坂道を下りていき突き当たりに正面に奥室があった。これが死体埋葬用の正室である。羨道部の左右には一室ずつあり副葬品を配置する副室としてゐる。都合三室よりなり、石室はドーム状に掘りぬき、土壁面は多く生活模様を描いた壁面としてゐる。十六時頃に高昌故城に入る。ここには観光用の馬車があり、全員これに乗って城内を一巡した。この城は漢代に築城され紀元前一世紀から十一世紀の宋代までのお城といわれている。城内は外城・中城・宮城の三口で構成され、周長約五キロ・面積約二〇〇平方メートルと言われている。城壁や城門の破壊が少ない所もあり、又寺院址もみることが出来た。漢代からの周辺には屯田兵を配置しており、西域への窓口でもあつた。

第二十六回

西日本菊花大会開催要項

九州一の菊の祭典 十一月一日より開催

全国的に白菊を集め西日本各地を代表する菊の祭典西日本菊花大会は、本年も十一月一日より三日まで、宗像大境内特設会場において開催される。

本年度は、福岡県内各地よりの出品を始め、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、山口各県より、代表的菊花製作者が丹精込めて作成した菊花が、一堂に集り競う。一昨年もより施行された西日本地区特別協賛「福岡十鉢花壇」のさらなる盛況も予想され、菊づくり九州一を決する大会として、西日本を代表する菊の祭典に相応しい大会となる見込みである。

また既報の通り平成十一年全菊連連盟大会が当地で開催されることが決定しているが、この大会への出品参加意欲の向上と栽培技術の練磨研究を計ることを目的として本年度より切花、福助、盆栽、鉢競技九州、山口大会を開催することも決定している。

本大会を主催する宗像大社菊花会は、一月に総会、講習会、四月三日夜会、理事会、七月に運営委員会、九月に理事会等の会合や打ち合わせを行った。

去る九月八日には、当大社斎館に於て菊花会役員五十七名出席のもと理事会を開き、本大会の開催要項、出品花の最終調整等が行われ次のように決定した。

尚本年度五月二日ニューズランドにて開催された第七回国際菊花会議にて次回の大会を日本で行うことが議決され、これを受けた日本各地の愛菊家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

の大会となり、世界各地の菊の愛好家、菊花がこの地へ集結することとなった。

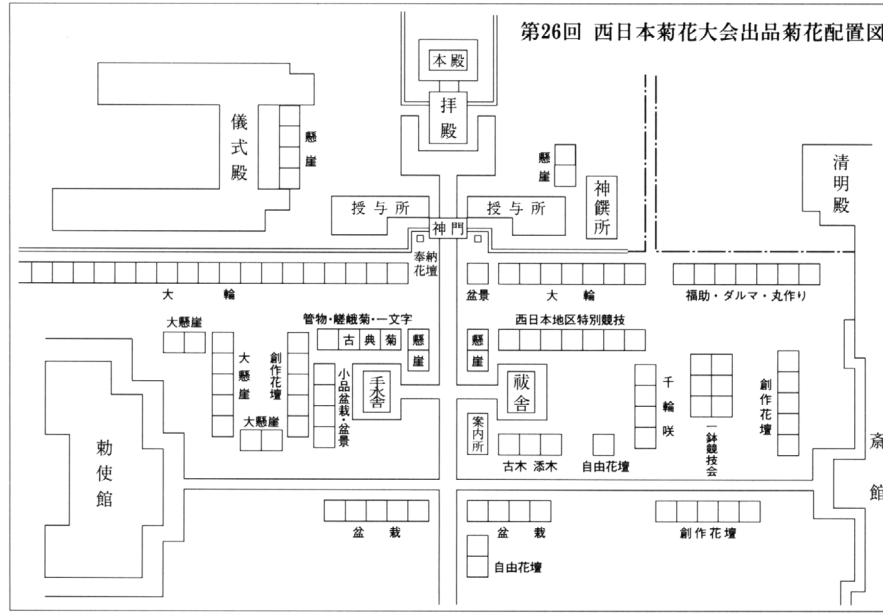


Table with 2 columns: Name (名称), Date (期間), Location (場所), and other details.

昭和二十九年五月には古代祭祀の究明を目的とし、小島氏を団長に沖ノ島学術調査団が結成され、三十三回調査が完了し、三十三冊の調査報告書が刊行された。

昭和二十九年五月には古代祭祀の究明を目的とし、小島氏を団長に沖ノ島学術調査団が結成され、三十三回調査が完了し、三十三冊の調査報告書が刊行された。

昭和二十九年五月には古代祭祀の究明を目的とし、小島氏を団長に沖ノ島学術調査団が結成され、三十三回調査が完了し、三十三冊の調査報告書が刊行された。

昭和二十九年五月には古代祭祀の究明を目的とし、小島氏を団長に沖ノ島学術調査団が結成され、三十三回調査が完了し、三十三冊の調査報告書が刊行された。

昭和二十九年五月には古代祭祀の究明を目的とし、小島氏を団長に沖ノ島学術調査団が結成され、三十三回調査が完了し、三十三冊の調査報告書が刊行された。

小島鉦作氏逝去される

宗像大社の学術調査に永い年月貢献されてこられた小島鉦作氏が、八月三十日に逝去された。茲にその芳名に感謝し、小島氏の遺志を承継し、御冥福をお祈りさせていただきます。

社務日誌抄

- 六月一日 月次祭
六月四日 白鳥石油備蓄係
六月七日 南郷小学校八十一名参拝
六月八日 落語茶会
六月九日 第二回宗像大社小倉百人一首かるた大会
六月十日 多度大社林宜塚原徳生氏他九名参拝
六月十一日 宗像郡遺族会
六月十二日 宗像郡遺族会
六月十三日 宗像郡遺族会
六月十四日 出光興産(株)
六月十五日 出光興産(株)
六月十六日 第二回宗像小倉百人一首かるた大会
六月十七日 宗像警察署柔道部三十名参拝
六月十八日 宗像警察署柔道部三十名参拝
六月十九日 出光興産(株)
六月二十日 出光興産(株)
六月二十一日 出光興産(株)
六月二十二日 出光興産(株)
六月二十三日 出光興産(株)
六月二十四日 出光興産(株)
六月二十五日 出光興産(株)
六月二十六日 出光興産(株)
六月二十七日 出光興産(株)
六月二十八日 出光興産(株)
六月二十九日 出光興産(株)
六月三十日 出光興産(株)



宗像大社歌会  
俳句作品集 四〇二

福間 森 清  
流されて草に息づく秋蛙  
福間 二宮 未子  
孝童の帽子にとまる赤蜻蛉  
若松 高橋 忠實  
つばめ去り蜻蛉群れとぶ青田かな  
津屋崎 井浦 良介  
台風之夜や枕を軽く抱く  
日の里 花田いつ枝  
バス停の文字も薄るの残暑かな  
福間中央 山下しづえ  
小公園駐車場ならつ草野原  
藤沢 井上 玄洋  
サーファーの森めく秋萩暑し  
自由ヶ丘 細川 絹子  
秋葉の追はれて逃げし西の空  
東郷 吉武 湧泉  
父の日や持つべきは子と今更に  
東郷 中野 きみ  
神苑の大樹千年楠若葉  
東郷 吉田 鈴子  
ギンギンと西日に照りて油槽群  
東郷 吉田 杏子  
浜木綿の花より白く浪くたけ  
東郷 三浦 三代  
入道雲富士の形に湧きにけり  
東郷 有吉 紀子  
一人行ひたすらに行く西日中  
東郷 田中 雨葉  
互い遠く連綿下りて雲の峰  
東郷 大原 厚子  
塚たり薄紫を櫻桃く  
おわの  
七月号俳句編集部の誤校がありました。深くおわび申し上げます。  
藤沢 井上 玄洋  
愛犬の瞳に光る葉かな

(続) 浜の奇物

110

うみまるとは能古島の西側にまわる。福岡マリノアが福岡での停泊地である。能古島はなると、博多湾側から流出しているゴミの



帯にぶつかった。うみまるとはそのゴミの中に入らないように避けて通るが、流れ藻に混じって、プラスチック、発泡スチロール、ビン

宗像むかしばなし  
亀の霊験 (その二)

次も宗像にゆかりの亀放生にまつわる因縁話である。主は近江の国甲賀郡の人で、時代の設定はない。貧しい妻が織りあげた布一反を、初にかえて田を作ろうと思いついた。彼はその布をまず魚にかえようと、琵琶湖畔の漁師に与えて網をひかせた。その日に一匹の魚がかかった。貴重な布一反を無駄にする結果とはなるけれど、彼の慈悲心は亀の感謝を持ち、後日近江の

ことを深く認識しました。うみまるとは翌十七日にはマリノアからジャック・マヨールが乗船、唐津へ。その後は沖浦から反転して東九州側へ瀬戸内海を抜け、太平洋側に出て七月十九日横濱港に着いた。五月十一日に港へ出て七十日間、総距離約七十四キロメートル

「海が自分たちの住む村町を見えなさい、と思っ始めたのうみまるとの旅でしたが、それは海はもちろぬ山や里、島などをとて大事にして生きていた人たちの出づる旅だった」というふうな、感じています。「海の取り持つ縁」を日本人がこんなにも大事にする民族であることに、あらためて僕は感激し、誇りに思っています。海は心をもっとも知っているた素晴らしい旅だったと思います。(南波蔵)

た状態だった。波も高く、女界島は眼前だったが、無理をすれば危険であり反転して、小戸に戻った。また次の機会を待つことにした。さて、七月中旬頃だった。志賀島の元徳協長だった小林孝氏から早朝電話がかかってきた。志賀島で漁師が丸木舟を見つけた。陸引き揚げておいて、食事、JMSと乗り継いで九時半ごろに志賀島にたどり着いた。巨木をくり抜き、約四メートルが残っていた。形は鯉節形である。確かに丸木舟である。長期間漂っていたであろうとなく、フジツボは小さく、数も多量はない。また埋もれていたよでもない。一体いつ頃のものか、どこで造られたものか、この丸木舟については次回にしたい。

「反物」は編織(あみこころ)形である。この布は縄文時代の皮衣(かわこころ)形から転化したものであるといわれている。この時代はまだ機械ではない機械が各地で使われていた。それが、原始機(ひんしはた)である。原始機で織られた布は、当時としては織織で多量であり、紡織の大革命であったといえる。全国各地から出土してきていて、縄文時代の布地をみる。この紡織の技法を用いていたことが判明してきている。と

り、特に、女神を奉斎している神社では、伊勢の神宮をはじめとして、神玉類の中にその姿を多量に見ることが出来る。祭祀形態の定形化を知ることが出来る。延暦十三年(八〇四)皇太后神宮儀(式帳)の宝殿物九種の中に、後に編織された「延喜式」延喜三年(九〇三)完成の「伊勢大神宮神玉十二種」の中にも紡織具が

王経にも放生を戒めているが、日本での起源は、公事根源に於ては、元正天皇の養老四年に、日向大隈地方に反乱が起った時、宇佐八幡の神示によって、戦没者の霊魂を慰め、それがにはじまるといわれる。それが八幡系統の各地神社に伝わった。福岡の宮崎宮でも昔は藩命によって、石室川口と多々良川の間を海浜の漁を禁止していたこともある。古くから石室宮の十月十日の神樂舞の行事に、蛤を周防灘に放た放生精神の伝承である。天馬や龍は、元来が、中国の昔に起った想像上の動物だから、どうでもよい

けれど、鶴亀は現存している。その真姿が納得ににぶる嫌いがある。アイヌは鶴を神の神とあがめた。浦島太郎は亀を助けてその背に乗せてもらった。龍宮の炊爨に数年を過ごした。鶴亀ともに縁起祝われての亀の名前に採られているのは、日本に於て探るの。亀千代・亀太郎・亀吉などの男性の名は、江戸時代の文書にもみられる。女性の名には、今昔もあまり用いなかったであろう。「おかめ」と呼んで、いささか具合が悪い。長寿の象徴として、亀の縁起を名にするのは鶴も同様だが、女性の場合は反対に鶴が多

豊玉姫が大亀に乗って、海を渡ってきたという神話時代から、海神のお使いとして漁民の信仰が強かった。玄界灘の荒波が洗った宗像沿岸には、海亀が浜辺にあがること、酒を飲ませて放つ風習が残っている。童話で知られる昼寝の鬼と、おそくとも夜々営々と着実に努力する亀とのかけくらべ、宗像人の進取の気象に奮む点と思ひ合わせ、今日に伝わるぬいぐるみの霊験も昔は少なくなかったであろう。亀の甲を焼いて占龜卜では、その詮索も難い。

この織機は奈良時代に神に奉獻する為に作られた精巧な編織品である。部品が全て揃っており、今でもちやんと布を織ることが出来る。沖ノ島の神へ奉獻された時期は、供え物に金銅製雛形品が出現しているのが、半岩隆平露天祭祀の時期である。七世紀後半代にある。またこの時期頃に織物関係の金銅製雛形品も多く奉獻されてくるようである。

織機・紡織具に関する祭祀奉獻は全国の古社名社で多く行われてきたようである。特に、女神を奉斎している神社では、伊勢の神宮をはじめとして、神玉類の中にその姿を多量に見ることが出来る。祭祀形態の定形化を知ることが出来る。延暦十三年(八〇四)皇太后神宮儀(式帳)の宝殿物九種の中に、後に編織された「延喜式」延喜三年(九〇三)完成の「伊勢大神宮神玉十二種」の中にも紡織具が

